

# 平成20年9月期 決算説明資料

(平成19年10月1日 ~ 平成20年9月30日)

平成20年 12月 19日

ひとを大切に。自然を大切に。

ホウライ株式会社



# 目次 ~ CONTENTS

<b>1. 平成20年9月期決算概要</b>	
1-1 業績サマリー	1
1-2 営業収益・営業総利益の実績	2
1-3 事業部門別実績	4
1-4 営業利益・経常利益・当期純利益の実績推移	7
<b>2. 「中期業務計画」概要</b>	
2-1 概要 (その1)	8
2-2 概要 (その2)	9
2-3 事業部門別施策	10
<b>3. 平成21年9月期業務計画概要</b>	
3-1 計画サマリー	11
3-2 営業収益・営業利益の計画	12
3-3 事業部門別施策	13
3-4 経常利益・当期純利益の計画	14
(ご参考) 主要な経営指標等(実績)の推移	15
(ご参考) 事業内容のご案内	16

本資料の見通し(予想値)は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため 実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な要因により、予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、本資料に記載の金額(実績)については、百万円未満の金額は切り捨てて表示しております。

## 1-1 平成20年9月期 業績サマリー



(単位:百万円)

	第124期実績 (平成19/9月期)	第125期実績 (平成20/9月期)	前期比	増減率(%)
			-	/
営業収益	5,772	5,795	22	100.4
営業総利益	1,191	1,077	-113	90.4
経常利益	908	935	27	103.0
当期純利益	606	675	68	111.3

•事業部門によりバラツキはあったものの、営業収益は、5,795百万円(前期比22百万円増)となりました。

•営業原価は、飼料・資材価格の値上がりと、不動産の修繕工事を主因に増嵩し、全体では前期比136百万円増加となり、その結果、営業総利益は1,077百万円(前期比113百万円減)となりました。また、西那須野カントリー倶楽部会員権のマーケットオープン化に伴い、売買が増加し、マーケットからのゴルフ会員権買取に伴う消却益も増加したため、経常利益は935百万円(前期比27百万円増)となりました。

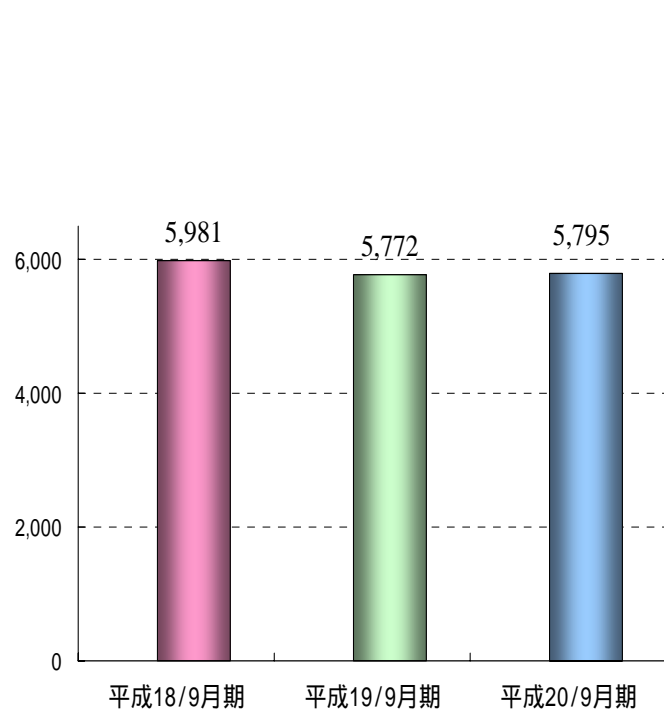
•当期純利益は繰延税金資産の増加も重なり、675百万円(前期比68百万円増)となりました。

# 1-2 平成20年9月期 営業収益・営業総利益の実績(その1)

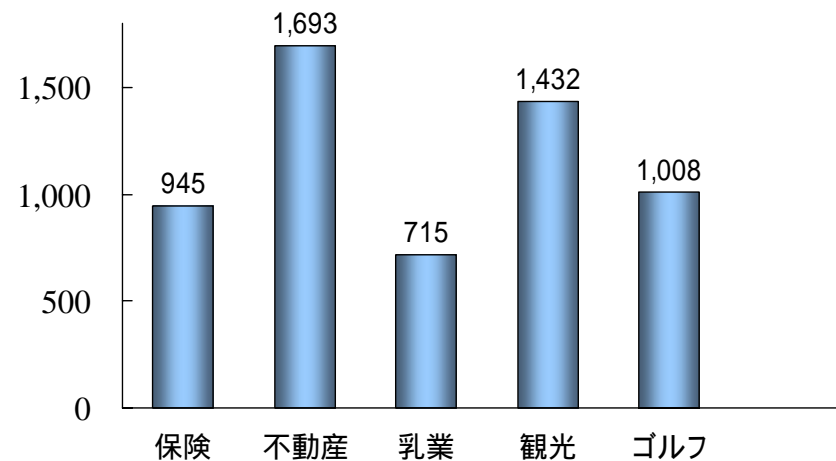


## 営業収益

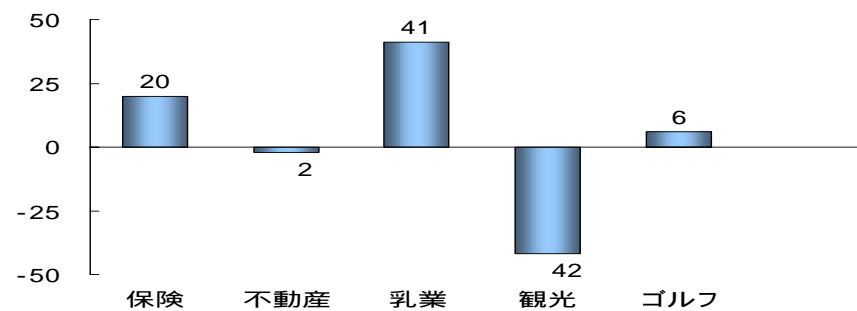
(単位:百万円)



## 部門別内訳



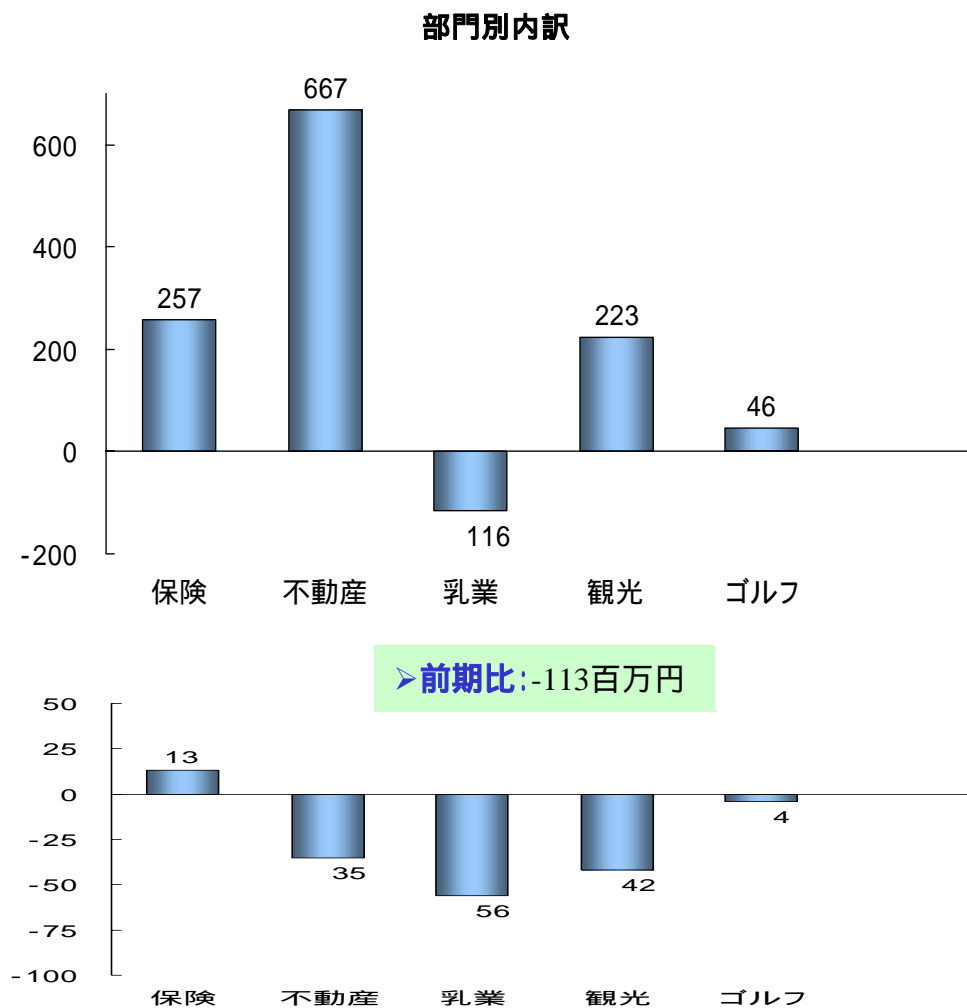
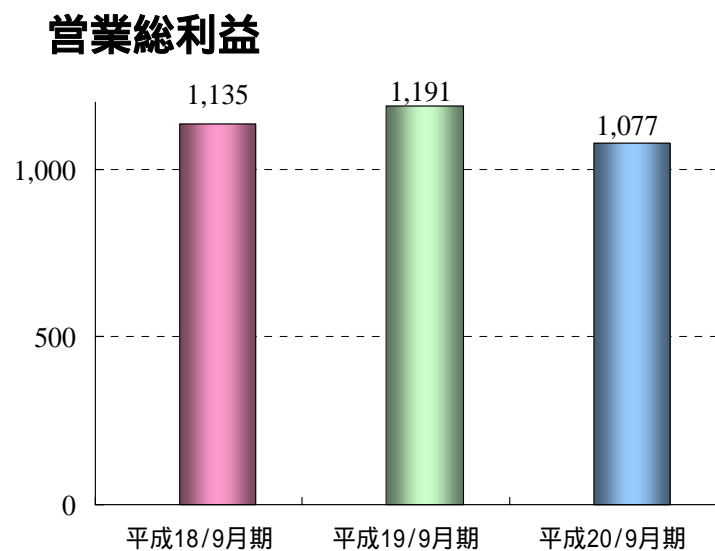
▶ 前期比: +22百万円



# 1-2 平成20年9月期 営業収益・営業総利益の実績(その2)



(単位:百万円)

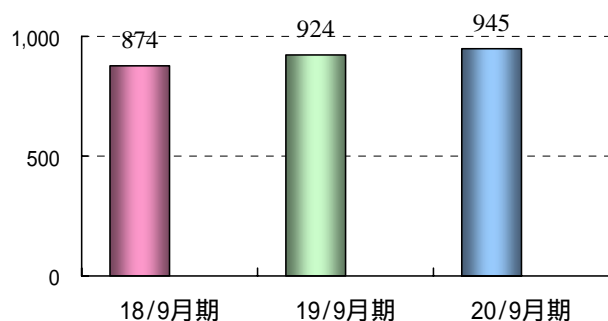


# 1-3 事業部門別実績(その1)

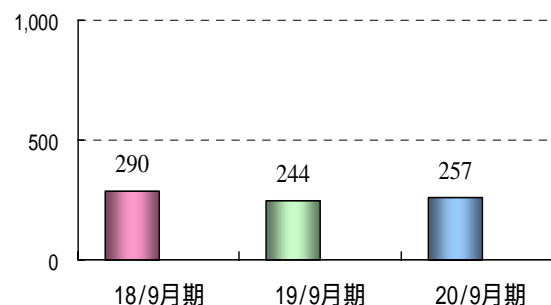
## 保険事業

(単位: 百万円、百万円未満切り捨て)

### < 営業収益 >



### < 営業総利益 >

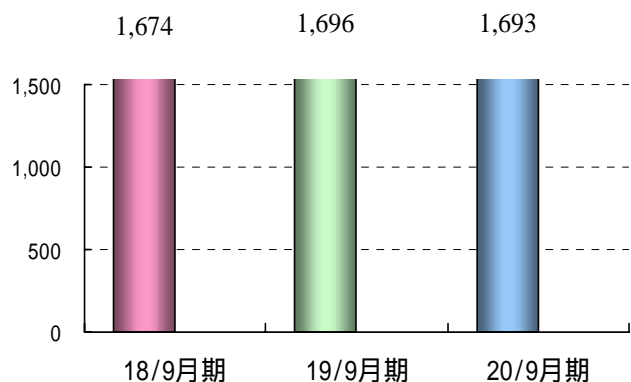


## 保険事業

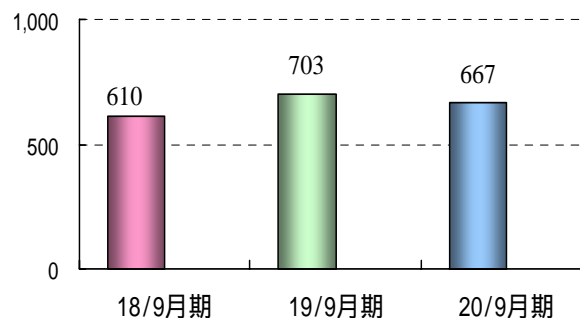
厳しい業界環境下、分野別にターゲットを明確にし、コンサルティング営業を進めた結果、営業収益は945百万円(前期比20百万円増)を確保しました。一方、営業原価は前年並みに抑制したため、営業総利益は257百万円(前期比13百万円増)となりました。

## 不動産事業

### < 営業収益 >



### < 営業総利益 >



## 不動産事業

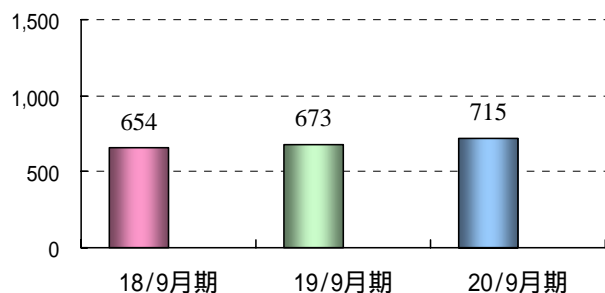
賃貸ビルの入居率は100%をキープすることができましたが、一部賃料改定の影響で営業収益は、1,693百万円(前期比2百万円減)となりました。一方、ビル修繕工事により営業原価が増加したため、営業総利益は667百万円(前期比35百万円減)となりました。

# 1-3 事業部門別実績(その2)

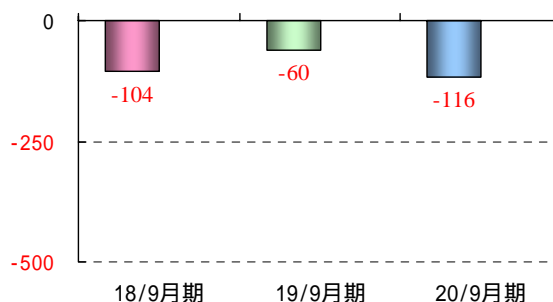
## 乳業事業

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

### < 営業収益 >



### < 営業総利益 >

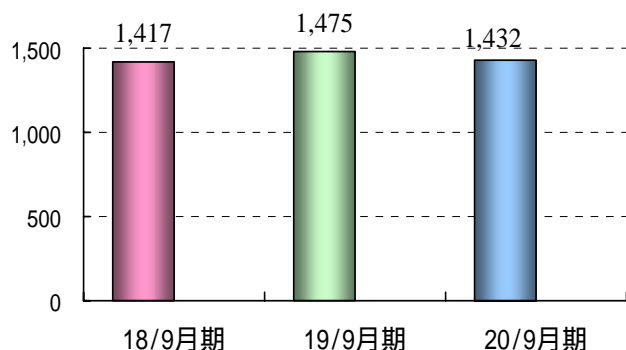


## 乳業事業

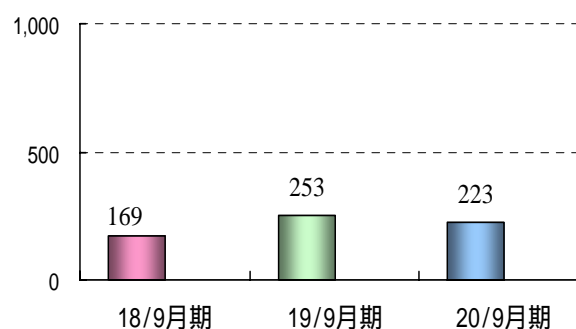
販路拡大、価格改定の他、ギフト・定期宅配等に全社を挙げて取組んだ結果、営業収益は715百万円(前期比41百万円増)となりました。しかしながら購入飼料、資材価格の値上がりの影響が大きく、営業原価が増嵩し、営業総損失は116百万円(前期比56百万円悪化)となりました。

## 観光事業

### < 営業収益 >



### < 営業総利益 >



## 観光事業

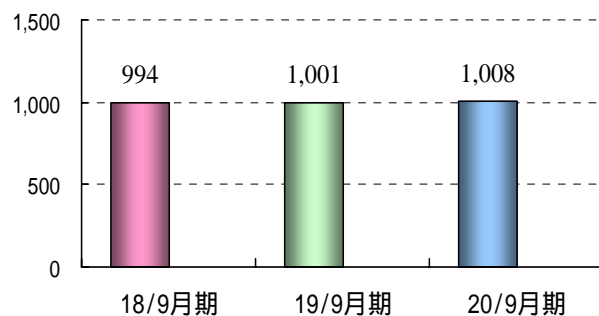
天候不順の影響で、サクラや紅葉の見頃がずれ込み、また、特に週末に豪雨にたたられ、さらにガソリン値上がりの影響も重なって、営業収益は1,432百万円(前期比42百万円減)となりました。営業原価は前年を下回ったものの、資材価格の値上がりにより営業収益に比べて減少幅は小さく、営業総利益は223百万円(前期比30百万円減)となりました。

## 1-3 事業部門別実績(その3)

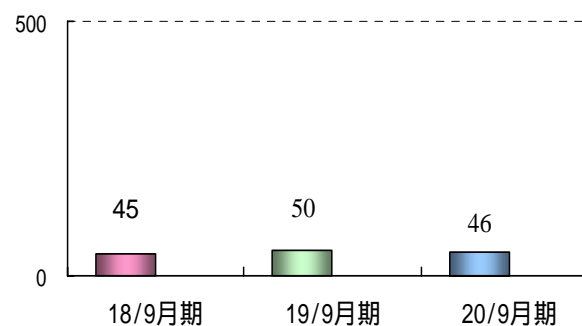
### ゴルフ事業

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

#### < 営業収益 >



#### < 営業総利益 >



### ゴルフ事業

コースグレードの維持・改善に努めるとともに、きめ細かな営業を展開しました結果、営業収益は1,008百万円(前期比6百万円増)となりました。資材の値上がり、設備更新等により、営業原価が増加し、営業総利益は46百万円(前期比4百万円減)となりました。

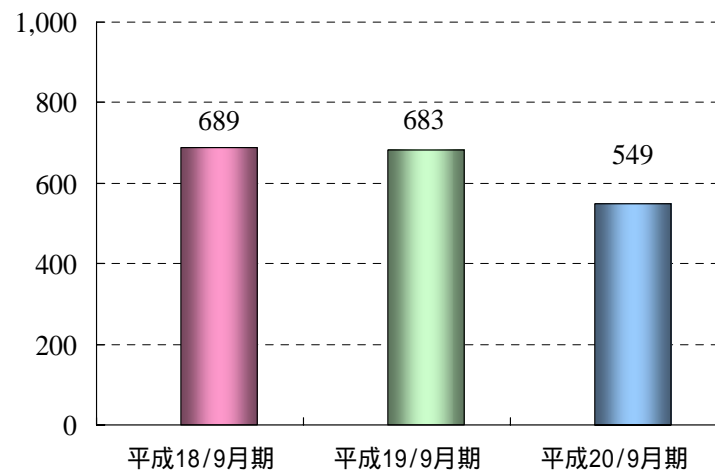


# 1-4 営業利益・経常利益・当期純利益の実績推移

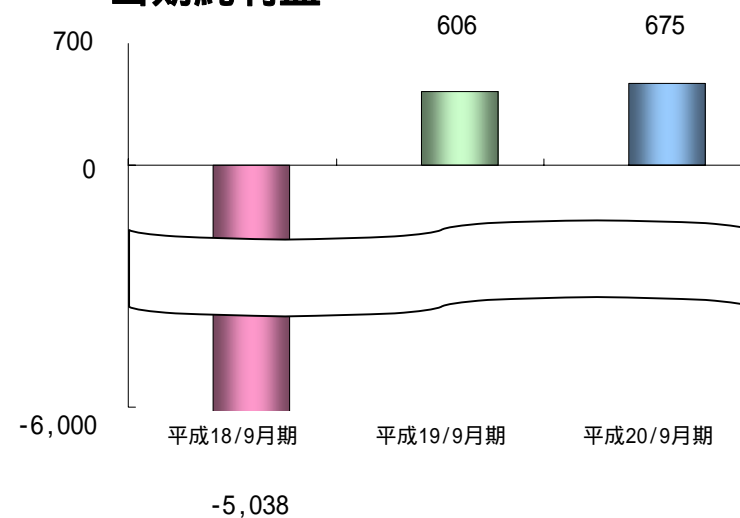


## 営業利益

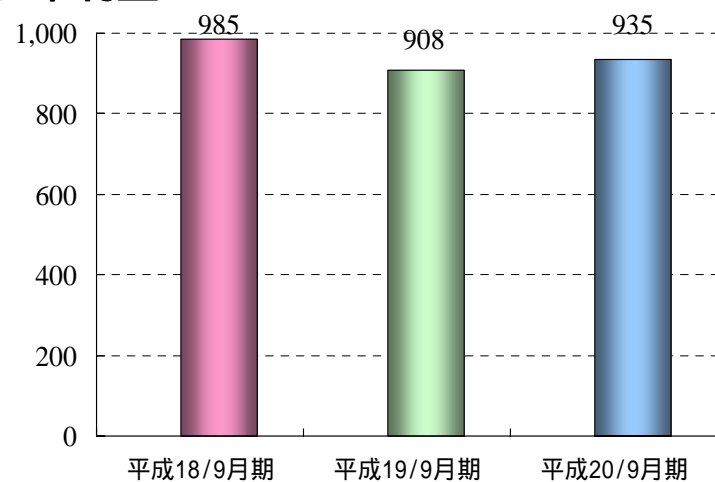
(単位:百万円)



## 当期純利益



## 経常利益



## 2-1 「中期業務計画」概要(その1)

### 1. 計画策定の趣旨

前3カ年計画(18/9期～20/9期)は、「固定資産の減損処理会計」「復配」「西那須野カントリー倶楽部の預り保証金満期対応」の主要三課題に取り組み、概ね所期の目的を達成。

このたび、平成21年9月期から平成22年9月期までの2カ年における中期業務計画を策定。

### 2. 中長期ビジョン

- (1) 中期経営計画の期間を従来の3年から2年に変更、環境変化へ即応できる柔軟性と機動性を確保。引続き、多角経営(5事業)を続け、経営資源の選択と集中を念頭に、収益体質強化。
- (2) 収益体質強化の推進にあたり、顧客対応力・業務プロセス分析力・改革企画力・コンピューターシステム対応力等を備えた人材の育成・強化やコンプライアンス・企業の社会的責任等、内部管理体制の強化など推進体制の拡充。

### 3. 計画の概要

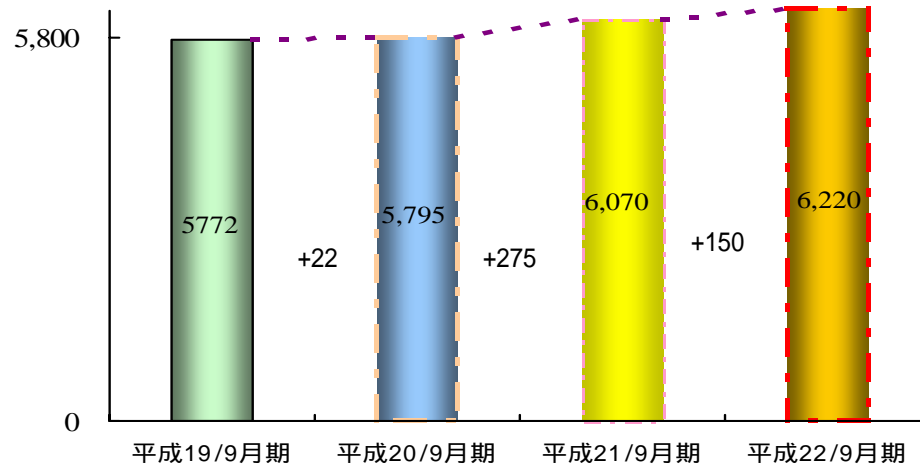
(有報ベース、単位:百万円)

	20/9期実績	21/9期計画	22/9期計画
営業収益	5,795	6,070	6,220
営業利益	549	590	680
経常利益	935	920	920
当期純利益	675	580	580

## 2-2 「中期業務計画」概要(その2)

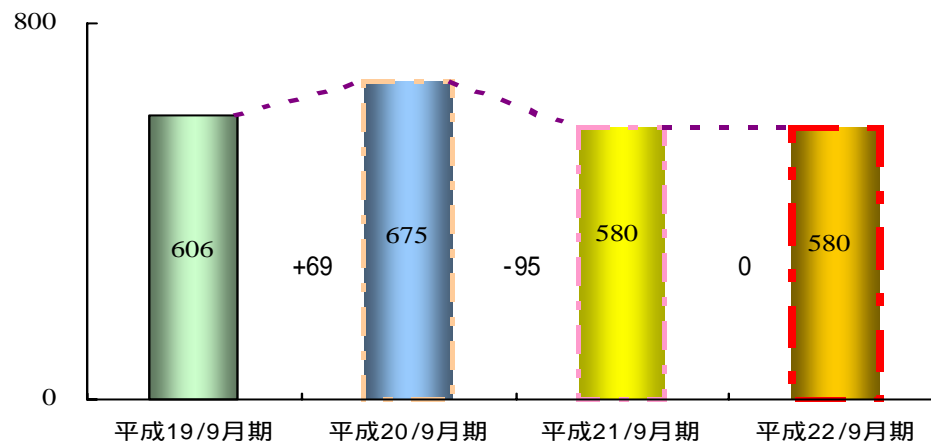
### 営業収益

(単位:百万円)



予想の数字は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

### 当期純利益



## 2-3 「中期業務計画」事業部門別施策

### 保険事業

新規マーケット開拓、顧客とのリレーション強化、代理店買収の促進等により収益向上を図ってまいります。

### 不動産事業

オフィスビル賃貸市場の環境変化を見据え、初年度の21/9期に池袋ビル増床工事など、経費負担が増え利益が減少しますが、その後は回復し、当社最大の利益部門として貢献し続けます。

### 乳業事業

製造面では乳製品の品質・衛生管理を第一とし、飼料・燃料価格の上昇対策にも配慮しつつ、原価管理・収益体質の改善に取り組みます。営業面では取扱商品(アイスクリーム等)や、チャネル(ギフト等)の集中・特化による強化策を図り、那須千本松牧場ブランドを活かした総合的な営業戦略を推進します。

### 観光事業

那須千本松地区の柱としての観光事業部門は、当地区の自然と牧場のイメージを活かした名物料理づくりを基本コンセプトに、顧客誘致対応と施設の整備・拡充・運営合理化を図って参ります。

### ゴルフ事業

新ロッジの開設・営業開始、平日来場者数増強対策等、コース品質の維持・向上と集客対応の強化に取り組み、両コース合算で年間来場者数6万人台、年間営業収益10億円台を定着させる計画です。

### 3-1 平成21年9月期 計画サマリー



(単位:百万円)

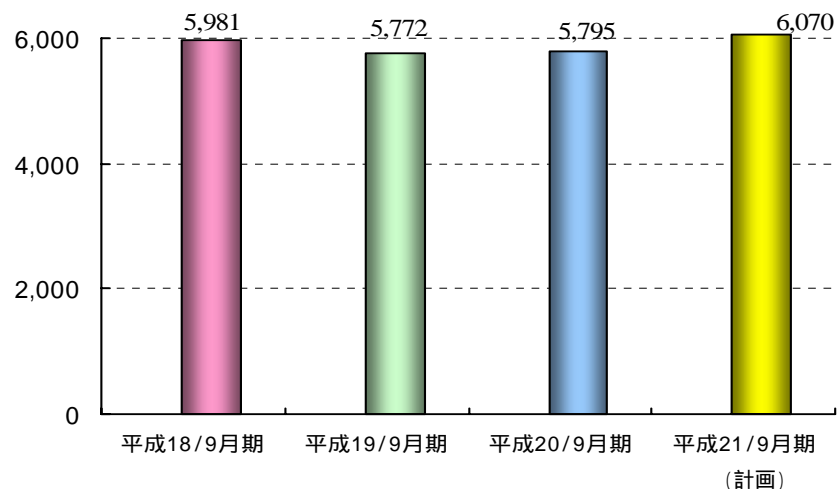
	前期実績 (平成20/9月期)	今期計画 (平成21/9月期)	前期比
営業収益	5,795	6,070	+275
営業利益	549	590	+41
経常利益	935	920	-15
当期純利益	675	580	-95

21年9月期につきましては、中期業務計画(21/9月期～22/9月期)の初年度の位置づけの中、多角経営(5事業)を続け、経営資源の選択と集中を念頭に置きつつ収益体質の強化に取り組んでまいります。

## 3-2 平成21年9月期 営業収益・営業利益の計画

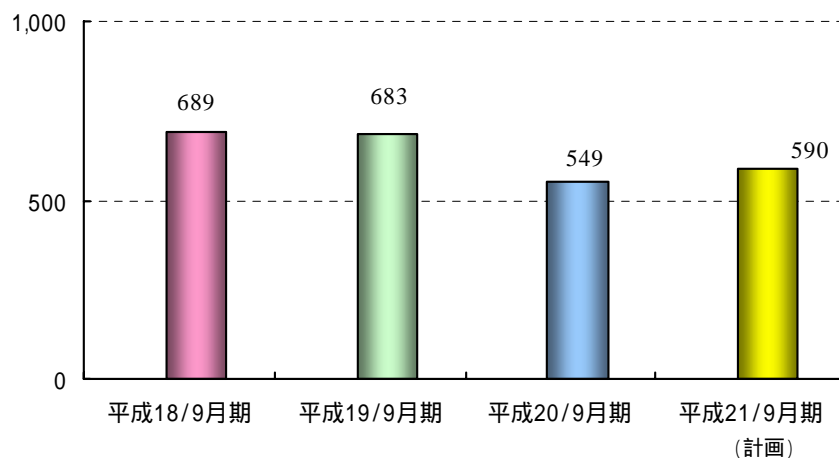
### 営業収益

(単位:百万円)



見通しにつきましては、世界経済の先行きが不透明で、国内景気も一段と厳しさが予想される中、積極的な営業展開により、増収増益を図り、営業収益6,070百万円(前年同期比274百万円)、営業利益590百万円(前年同期比40百万円増)を予定しております。

### 営業利益



### 3-3 平成21年9月期 事業部門別施策

#### 保険事業

コンサルティング力を強化し、トータルリスクマネジメントサービスの充実による差別化戦略と、新規チャネルの開拓による基盤拡充等により攻めの体制を拡充するとともに、事務の正確性確保と効率化を一層推進し、増収増益を図ってまいります。

#### 不動産事業

地域毎のマーケット環境や、賃貸条件の動向に留意するとともに、ビルグレードの維持、向上に努め、テナントに満足いただけるビル運営により満室状況の維持と適切な賃料確保に注力してまいります。

#### 乳業事業

食品の安全性確保を第一に考えて、安全かつ高品質な製品を提供するため、マニュアル類に基づき品質管理を徹底いたします。牧草から育てる一貫生産体制と遺伝子組換えでない飼料による良質な原乳の確保に努めるとともに、製造過程における衛生管理を徹底いたします。飼料・資材価格が高騰する中、生産面では、設備の計画的な更新により一層の合理化と生産性向上に注力いたします。販売面では営業戦略の見直し、新製品投入等により販売基盤の強化を図り、早期に黒字化を目指してまいります。

#### 観光事業

入場無料・駐車場無料をアピールし、観光客の誘致に努めるとともに、引き続き施設の整備・拡充を推進いたしました。また、お客様のニーズをしっかりと把握し、売店取扱商品の品揃え拡充やレストランメニューの見直しにも取り組んでまいります。

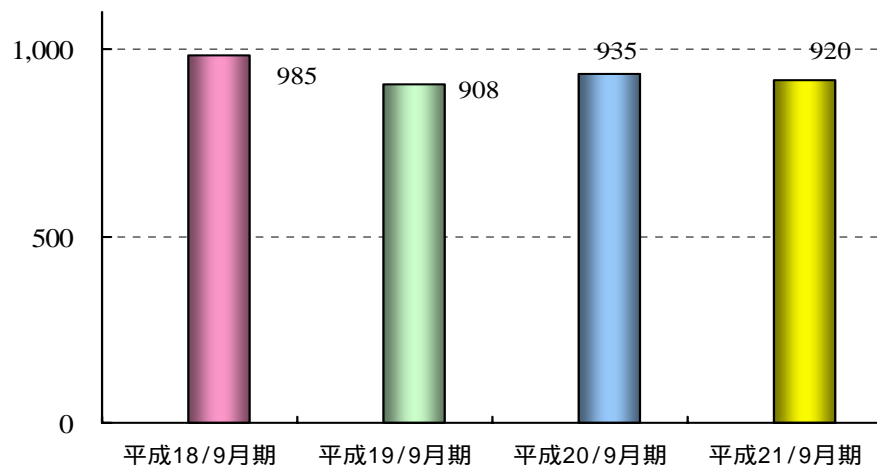
#### ゴルフ事業

施設設備の計画的な更新を進め、コースの高品質を維持しながら営業収益の増加を図るとともに、引き続きコストダウンに注力してまいります。週末両日プレーの宿泊ニーズにお応えするため、ロッジ・宿泊施設の拡充を検討します。

### 3-4 平成21年9月期 経常利益・当期純利益の計画

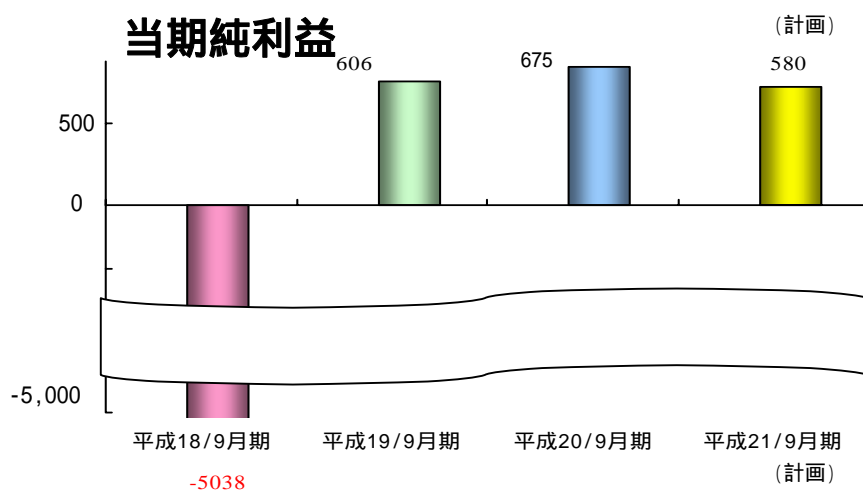
#### 経常利益

(単位:百万円)



ゴルフ会員権償却益の減少を主因に、  
経常利益段階では、若干の減益となる予定です。

#### 当期純利益





## (ご参考) 主要な経営指標等(実績)の推移

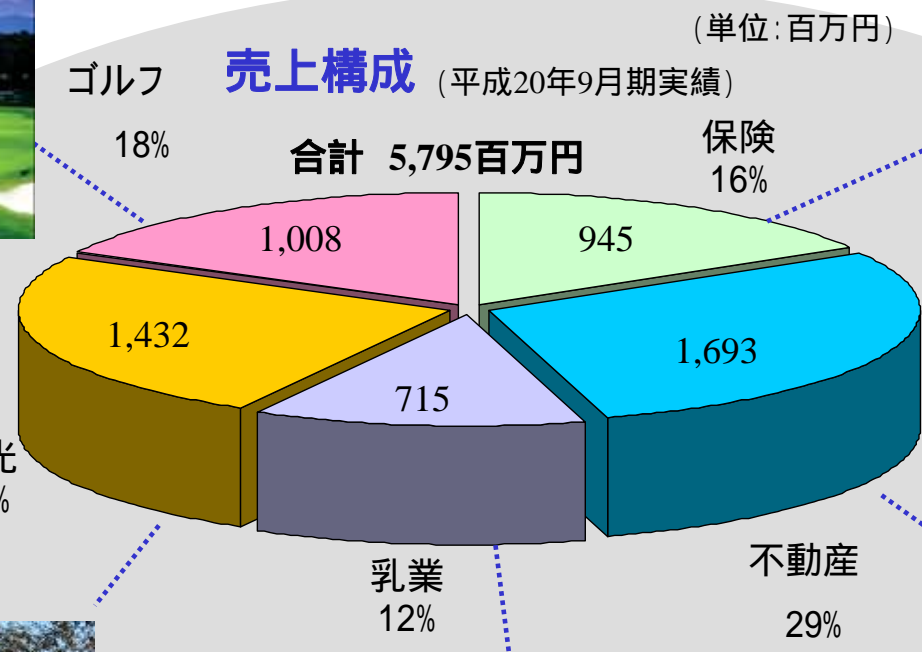


(単位:百万円)	平成16年9月 通期	平成17年9月 通期	平成18年9月 通期	平成19年9月 通期	平成20年9月 通期
営業収益	5,319	5,599	5,981	5,772	5,795
経常利益	150	391	985	908	935
純利益	52	377	-5,038	606	675
総資産額	30,679	32,654	26,438	26,094	25,702
内 現預金	4,091	4,182	3,717	3,962	3,929
総負債額	21,131	22,622	21,469	20,513	19,595
内 預り保証金	20,331	19,175	18,281	17,326	16,073
内 有利子負債	0	( )2,350	2,250	2,150	1,950
純資産額	9,548	10,032	4,969	5,580	6,106
内 資本金	4,340	4,340	4,340	4,340	4,340
1株当たり純資産額	680.97円	715.90円	354.72円	398.57円	436.34円
自己資本比率	31.1%	30.7%	18.8%	21.4%	23.8%
従業員数 (名)	186	181	192	171	161
(他平均臨時雇用者数)	(113)	(112)	(117)	(128)	(139)

# (ご参考) 事業内容のご紹介



ホウライカントリー倶楽部  
西那須野カントリー倶楽部の運営



損害保険代理店業務  
生命保険募集業務



レジャー施設・レストランの運営  
土産品・乳製品等の販売



乳製品(牛乳・アイスクリーム・ヨーグルト)の製造・販売



ビル・不動産の賃貸・管理